

作品No.	作 品
201	男だって女だって みんなみんな一人の人間、 それぞれ個性のある人間 自信をもって歩きだそう。
202	男女が平等に能力を認められるような社会になるように 自分たちで社会を創る
203	男女の壁をなくして、 はずむかいわをつくろうよ。
204	みんなが活躍できる世の中になれば みんなうれしい
205	男女という壁をこわして 男も女も自分らしく生きていく 性別をのりこえて一人ひとりの 個性が輝く社会へ
206	今までの役割にしばられず、 自分が活やくできる場所で日々を過ごす。 このことが当たり前になりますように。
207	怖がらないで自分の個性を出してみよう。 きっと認めてくれる人がいる。 だから私も、個性を認められる人になる。
208	男性女性関係なく 地域にこうけんできるような社会ができることを信じよう。
209	男の子だって 女の子だって みんなそれぞれ頑張っている その頑張りを 平等に認めてもらえる そんな社会を作っていきたい
210	女だから信らいされない 男の方が力がある 私達の夢がこんな事で 立ち止まることはない そんな世の中になるよう あなたから考え直そう
211	結婚しても キャリアアップができる あたりまえの世の中 心の底からそう言えるように変えていこう

作品No.	作 品
212	先生はお父さんになり、しばらくお休み。 心細い。でも、とても心強い。 大切な時、大変な時、誰でも代われる世の中に。 喜びも、負担も、分け合える世の中に。 私達の未来を、切り拓いてくれると思うから。
213	人として生きる以上、違いがある それをどう生かすか どう捉えるかで 限られた時間は輝く
214	みんなの世界はそう簡単に変わらないから。 自分の世界を変えよう。 それをみんながすれば みんなの世界は、きっと変わるはず。
215	色って誰が決めたの？ 自分色で人生を彩ろう!!
216	十人十色 全員それぞれ違っても たがいの良さは 理解できると良いな
217	わたしらしさ あなたらしさ 認めあい 光る個性が 道を照らす
218	自分の個性のままに 好きなものに色づいて 自由に生きていく姿が 「違い」を尊ぶ 社会を照らす
219	男性でも女性でも好きなこと・着ている服・髪型等に変化はない。 どんなだっていいじゃない。
220	男だから 女だから そんなことわり一切ない 個性みとめて 歩み出そうよ
221	自分の個性が輝く未来 想像してみて きっと明るいから 考えてみて きっと心がはずむから
222	男女という壁によって 生きづらさを感じることがない社会をつくらなければいけない。

作品No.	作 品
223	男なのに？女なのに？ じゃなくて、一番最初に すごい!!って言えるのが、 まっすぐ応援できるのが、 あたりまえになればいいな
225	普通の色なんてない みんな違ってみんないい 大切にしたい一人一人の色 みんなでつくる 互いの色を思いやり 尊重できる社会
226	好きな人に 好きな服着て 会いに行く。 あなたも。 わたしも。
227	男も女も関係なし 笑顔でつなぐ暮らしの輪
229	誰かの「やってみたい」が 性別に関係なく応援されて 迷わず一歩を踏み出せる社会が 創られますように…。
230	ソプラノ、アルト、 テノール、バス それぞれが響き合って 一つの合唱をつくるように ひとりひとりの個性は 社会を彩る。
231	えらんだ道を がまんしないで自分らしく進めるように お互い個性を認め合おう ほらね、「えがお」になれるでしょ？
232	同じ志を持っているんだ 男も女も関係ない 誰もが気づいているけれど あと一歩 その勇気が「普通」を変える
233	進む道が違ってても、 すべての選択が等しく 尊重される社会こそ 共に歩む価値がある。
234	互いの違いを認め合い 誰もが自分らしく生きられる社会へ。 性別や年齢、役割にとらわれることなく、個性が輝く 人生を歩めますように。
235	性別を越えて響く声が、 社会を動かす鼓動になる。

作品No.	作 品
236	服装・役割・一人称 好きなものを選べる。 そんな社会を作っていこう。
237	すべての人が手を取り合えば きっと明るい社会になれる 男だから女だから そんなものはもう古い
238	みんなの普通と 僕の普通 愛せる心があるように 信じあえる心があるように あなたにはあなたの 普通を生きぬいてほしい。
239	挑戦したいことを 男女の壁であきらめない みんな平等に 個性を認め合える そんな社会になればいいのに。
240	未来の社会は今の一步から まず踏み出そう その一步が 誰かの背中を押すきっかけになる
241	お互いがお互いの良さを認め合い、 お互いがお互いの足りない所を補い合える、 そんな社会になればいい。
242	「女だからできない」 「男だからできない」 と、できない理由を考えずに 「こうすれば…」 「こうしたら…」 と、できる工夫を。
243	男の私と女の僕。 体と心が同じじゃなきゃいけない、 そんな法律はない。 自分を愛して生きれるのなら、 性別なんて関係ない。
244	男女平等 LGBTQ 男女共同参画 果たして身体の差関係なしに 性別意識をないがしろにしているのか？
245	男女共同参画 この言葉は義務？ この言葉は強制？ 専業主婦 はたらく女性 どちらが正しい？ どちらが偉い？

作品No.	作 品
246	お金を稼ぐことだけが仕事じゃない 仕事は男のためだけのものじゃない 性別を越えて 個人の選択が 尊重される そんな社会へ
247	男だから、女だから、 いないところまで気を配らなければいけない社会、 私達が変わえよう。 私達で変わえよう。
248	性別が違ってても、 力量、職業、給料 変わらない。 そんな日常を当たり前。 みんな生活を幸せに。
249	「男」と「女」で区別はもうダサイ！ 持ちつ、持たれつ 関係で支え合おう。
250	らしさも、あたりまえも、人それぞれ。 色とりどりの個性で描く未来。
251	性別なんて関係ない みんなが対等に活躍できる社会 みんなの個性を認め合う社会 今つくろう
252	“らしさ”を守るために、 “普通”を守るために、 “当たり前”を守るために、 自分のことを犠牲にしなくてもいい、 そんな世の中であってほしい。
253	「君のままでいい」と言いながら 「何も変わらなくていいんだよ」と言いながら 今にも崩れそうな足場の上で一步も動けない私を 無理やり押し出していく、 そのことば、本当？
254	男だから 女だから なんてことより 一番大事なものは その人をどう思っているか その気持ちを忘れずに
255	男や女は関係ない。 性別で判断しない。 能力で評価する社会に みんなで目指そう 現代の冠位十二階
256	自分を自分たらしめるものが 性別なのだろうか 男の足でも女の目でも 海や山は見れるのに。

作品No.	作 品
257	人を区別する必要はない。 ましてや男女でわかる必要もない。 みんな人間として見れば、 みんな同じ。
258	限りある別れ道ではなく 自分から無数の別れ道に、
259	みんなが平等な立場で話せば きっと生まれる解決策が。
260	育児も家事も、 性別で分けずに 思いやりでつながる社会がいい。
261	誰かを知って、 見た目じゃ足りない その人らしさってどこにあるんだろう 性別や肩書きより、 心の声に耳を澄ませたい
262	人は数式じゃない 性別も年齢も肩書きも 分けるたびに その人らしさが こぼれ落ちる
263	境界線の向こうに まだ知らない 優しさが待っている 勇気を出して 行ってみよう 「知らない世界」へ
264	「らしさ」は誰かに決められるものじゃない。 自分で選び、自分で歩む。 それが本当の自分。
265	男性には男性の「強み」が 女性には女性の「強み」が 自分がどちらであっても 自分の「強み」だけでは 社会は成り立たない
266	「女の子なのにすごいね」って 優しい人が言った 私無性に腹が立ったの 「そんなのどうでもよくない？」って
267	女と男 その区別 もうやめましょう これからは あなたとわたし わたしとあなた

作品No.	作 品
268	「女なのに」「男なのに」 そんな批判は気にせずに 「わたしだから」を大切に 「あなただから」を大切に みんなの社会をみんなで創ろう
269	男？女？関係ない だって僕らは人間だもの 世界で働く人間だもの なぜか平等でない世界
270	大好きな街 大好きな景色 大好きな料理 大好きな友達 大好きな山形 大好きな東北 大好きな日本 ただ平等でない世界
271	家事を分けた日、 味噌汁の湯気と いつもより多い“ありがとう”が 部屋いっぱい広がった。 その温かさが、 明日の私を支えてくれる。
272	女なのにすごい？ 男だから当たり前？ そんなラベルはいらない 頑張ったから。 諦めなかったから。 ただ、夢を追ったから。 その人は、すごいんだ。
273	ひとはまるでパズル 形も違えば、色も違う 「男だから」「女だから」じゃはまらない ともに作れば、つながっていく
274	「男性らしく」「女性らしく」 時代遅れの言葉たちを 笑い飛ばせる世の中に
275	「男性の僕」「女性の私」 世の中に見てほしいのはそんなんじゃなくて 「人間の僕」「人間の私」
276	「自分らしさが出せる。家だから。」 その「家」を「社会」に 広げていこう。
277	たくさん働くの男 家事や育児をするの女 男が好きになるの女 女が好きになるの男 こんな思い込みの無い社会へ
278	俺だけ仕事してるって。 お母さんも家で家事(仕事)しているよ。

作品No.	作 品
279	教室の窓から見える校庭 ボールを追う声も 本を読む静けさも それぞれの輝きをもつ午後
280	「女だから」や「男なのに」と やりたいことが できない社会。 そんな社会より、 「自分だから」できることを できる社会をつくりたい。
281	「男だから」「女だから」 誰かの期待ではなく 自分で選びたい道がある
282	センターは一人じゃない。 誰もが輝く みんながセンター。
283	「男らしさ」に縛られず 「女らしさ」に押し込められず それぞれの「らしさ」を越えて 自分らしく立つことが、 未来を変える
284	常識は社会の掟 マナーは公共の掟 ルールはその場の掟 でも男の掟 女の掟はまるで幻影 幻影なんてぶっ飛ばせ
285	誰かの「らしさ」にとらわれず、 自分の色を咲かせよう。
286	自由に歓びを分かち合う そんな社会を広げていくために、 声を、言葉を重ねて、 社会を変えていこう。
287	みんな違う人だから 個性があるのは当然で みんな同じ人間だから 認め合っていくべきなのです
288	男だから、女だから そんな言葉が大切なものを奪ってく みんな協力し、認め合う 新たな時代へ！
289	今やりたいこと 堂々と挑戦 未来の僕私 「楽しかったなあ」
290	焦らなくていい 人は全員原石だ きっと誰かが君を見つけてくれる おくれた分は みんなでとり戻そう

作品No.	作 品
291	男らしさ 女らしさ もう古い！ 力を合わせて 社会を回す 両輪のように
292	男子だから、女子だから そんな言葉がなくなって 本当の自分で接することができたら 男女なんて関係ない。
293	みんなそれぞれ個性がある。 男だから女だからそれは違う。 大切なのはありのままの自分
294	少しずつ、でも確実に 社会は変わっている。 だから、自分の夢を あきらめる必要はない。
295	一人だけではできないことも 一人ではなく、一人一人が責任を持って みんなで助け合えたら もっと世界は温くなるのかな
296	男だからできる 女だからできる そんな世界ではなく あなただからできる 私だからできる 私が私を あなたがあなたを 大切にできる社会へ
297	私の好き あなたの好き 私の夢 あなたの夢 心からそれを楽しんで 心からそれで笑っている 私が好き あなたが好き
298	だれもが光るその場所で、 性別はただの風のように 声も夢も隔てなく 共に描こう未来の模様
299	自分の「好き」、 自分の「魅力」 捨てちゃいけない。 「だれもがどこかで主人公だから」
300	男なのに、女だからと、男・女という言葉 使って人を見る。 それをやめ、一人の人としてみよう。